

令和7年度予算

優先課題推進枠の概要

- 1 安全安心、人を育むまちづくりを推進する事業
- 2 快適で、活気あふれるまちづくりに関する事業

【優先課題推進枠の概要】

1 安全安心、人を育むまちづくりを推進する事業

(事業費 985,615千円)

【新規事業 388,701千円、継続事業の新規分 15,057千円】

(単位：千円)

No.	科目 (目名)	事業名	予算の内容	
			概要	予算額
1	車両管理費	【新規事業】 公用車次世代自動車推進等業務経費	公用車運用の効率化を目的としたシステムを導入するほか、千歳市地球温暖化対策実行計画に基づく温室効果ガス排出量の計画的な削減を推進するため、順次、公用車を次世代自動車に転換する。	8,155
2	公害対策費	公共施設等脱炭素化推進事業費	令和6年度に実施した「公共施設等への太陽光発電設備の導入調査」に基づき、公共施設の脱炭素化を推進するため、太陽光発電設備を計画的に設置する。 【令和7年度】 ・千歳第二小学校 ・みどり台小学校 ・勇舞中学校 ・子育て総合支援センター	25,000
3	コミュニティセンター費	(仮称)大和地区コミュニティセンター整備事業費	自主的なコミュニティ活動のための拠点施設及び災害時の指定避難所としての機能を有する「(仮称)大和地区コミュニティセンター」の整備に向け、実施設計を行う。	79,419
4	情報推進費	【新規事業】 公開型・統合型GIS整備事業費	市が保有する地理空間情報(ハザードマップなど)を広く一般に公開し、業務の効率化や市民サービスの向上を図る。	104,791
5	社会福祉総務費など	【新規事業】 重層的支援体制整備事業費	介護、障がい、子ども、生活困窮の各分野での相談支援体制では対応が難しい、複合化、複雑化した支援ニーズに対応するため、「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施し、包括的な支援体制として「重層的支援体制」を構築する。	15,458

(単位：千円)

No.	科目 (目名)	事業名	予算の内容	
			概要	予算額
6	障害福祉費	地域生活支援事業費	「千歳市コミュニケーション並びに情報の取得及び利用のための多様な手段の利用促進に関する条例」の制定にあたり、市民へ向けた条例の基本理念等の理解促進のため講演会を開催する。 【新規分：120千円】	78,365
7	児童福祉総務費	子ども医療費助成事業費	令和7年8月診療分より、子ども医療費助成の所得制限を撤廃し、高校生世代(18歳)までの医療費を原則無料とする事業拡大を行う。実施に必要なシステム改修を行うとともに、事業拡大分の子ども医療扶助費、重度心身障害者医療扶助費及びひとり親家庭等医療扶助費を増額する。 【拡充：86,197千円】(重度心身障害者医療扶助費及びひとり親家庭等医療扶助費含む)	369,563
8	児童福祉総務費	医療的ケア児支援事業費	医療的ケア児及びその家族が安心して地域で暮らすための支援として、新たに保育園、学童クラブ、学校、外出先などに訪問看護を提供し、医療的ケアを実施する。 【新規分：360千円】	1,981
9	児童福祉総務費	【新規事業】 ヤングケアラー支援体制強化事業費	ヤングケアラーとその支援についての理解促進を図るため、ヤングケアラー及びその家族と関わる可能性の高い関係機関(福祉、教育、医療、介護等)を対象とした研修会を実施する。	413
10	児童福祉総務費	【新規事業】 保育士等確保支援事業費	市内の保育従事者数の増加を図るため、子育て支援員を新たに雇用するために必要な費用を保育所等に補助するとともに、子育て支援員となるために必要な研修を実施する。	31,761
11	保育所費	【新規事業】 こども誰でも通園制度実施支援事業費	未就園の0歳6か月から満3歳未満のこどもを、月一定時間の利用枠において保護者の就労要件等に関わらず受け入れる「こども誰でも通園制度」の先行実施にあたり、本制度を実施する市内私立教育・保育施設等に運営費を補助する。	15,207

(単位：千円)

No.	科目 (目名)	事業名	予算の内容	
			概要	予算額
12	農業振興費	有害鳥獣等駆除事業費	シカによる食害被害を防止するため、人がほぼ聞こえない音域の高周波を発生しシカを追い払う獣害対策機器や、シカの生息状況を遠隔で確認できる自動撮影赤外線式カメラを導入する。また、有害鳥獣駆除に係る補助金を増額する。 【新規分：661千円】 【拡充：100千円】	4,447
13	林業費	クマ防除経費	住宅街に近い場所でのクマの出没を未然に防止するため、クマの接近を感知すると大きな音を発するクマ避け装置や、クマの生息状況を遠隔で確認できる自動撮影赤外線式カメラを導入する。また、クマの目撃情報による危険な出動要請が増加しているため、クマ防除隊への報酬額を増額する。 【新規分：1,028千円】 【拡充：220千円】	3,864
14	災害対策費	災害応急対策用品等整備事業費	災害発生に備え、飲料水確保の初期対応としてペットボトルの飲料水や、各避難所に配備している灯油ストーブの燃料となる灯油缶を避難所に備蓄する。 【拡充：3,111千円】	8,736
15	消防施設費	【新規事業】 消防車両等更新事業費	市民の安全・安心した暮らしを維持するため、運用中の救助工作車及び高規格救急自動車を消防車両等整備計画に基づき更新整備する。	209,716
16	教育振興費	生徒指導事業費	全国的に不登校児童生徒が増加している中で、不登校の未然防止や、教室に登校することが困難な児童生徒の学習保障などの充実化を図るため、「校内教育支援センター」に専属の支援員を6名配置する。 【新規分：12,888千円(会計年度任用職員費計上)】	2,071

(単位：千円)

No.	科目 (目名)	事業名	予算の内容	
			概要	予算額
17	給食センター費	新学校給食センター整備事業費	現在の学校給食センターが抱える課題(狭隘化、食物アレルギー対応、設備等の老朽化)を解消し、より安全・安心で多様な献立に対応した新たな学校給食センターの整備を行うため、「千歳市新学校給食センター整備基本計画」に基づき、事業者の募集に向けて、要求水準書等を策定する。	23,468
18	高齢者補聴器購入費等助成事業費	【新規事業】 高齢者補聴器購入費等助成事業費	補聴器の利用を促進するとともに、高齢者の社会参加及び地域交流を支援し、高齢者の認知症予防及び虚弱状態予防を図ることを目的として、満65歳以上の身体障害者手帳の交付の対象とならない中等度難聴の高齢者に対し、補聴器の購入費用等の一部を助成する。	3,200

2 快適で、活気あふれるまちづくりに関する事業

(事業費 1,275,123千円)

【新規事業 253,111千円、継続事業の新規分 41,427千円】

(単位：千円)

No.	科目 (目名)	事業名	予算の内容	
			概要	予算額
1	企画費	自動運転社会実装 推進事業費	千歳駅 - 向陽台地域を結ぶ大型バスの自動運転実証実験を実施する。期間を拡充し、冬季を含む3か月程度実施するほか、レベル4認証取得に向けた検証を行う。 【新規分：11,440千円】	114,631
2	企画費	AIオンデマンド 交通導入推進事業 費	AIを活用した効率的な運用により、WEBや電話からの利用者予約による「オンデマンド交通」の実証実験を実施する。運行区域は引き続き向陽台地区を対象に、期間は7か月間に拡充を予定し、試験的に乗車運賃を設定して検証する。	22,119
3	企画費	次世代半導体拠点 推進事業費	半導体関連企業の進出が進んでおり、その立地状況や企業の特徴などをわかりやすく紹介することにより市民理解を促進するため、半導体ウェブサイト内に新たな動画コンテンツを追加する。 【新規分：3,300千円】	18,125
4	空港費	2026ちとせ・空 港開港100年記 念事業費	令和8年に空港開港100年を迎えるにあたり、引き続き記念動画や児童向け学習まんがの作成を進め、空港発展の歴史の普及啓発等に活用する。 また、空港開港100年に向け設立した実行委員会に負担金を支出し、記念ロゴやキャッチフレーズを用いた啓発グッズ等を引き続き作成するほか、まち全体で祝賀することを目的としたイベント等を実施する。 【新規分：12,202千円】	53,930
5	コミュニ ティセン ター費	(仮称)大和地区コ ミュニティセンタ ー整備事業費 (再掲)	安全安心、人を育むまちづくりを推進する事業No.3の再掲 予算額は安全安心、人を育むまちづくりを推進する事業に計上	

(単位：千円)

No.	科目 (目名)	事業名	予算の内容	
			概要	予算額
6	商工振興費	企業誘致推進事業費	国内に本社を置く製造業等の企業4,000社に対し、新工業団地のPR及び立地意向調査を行い、企業ニーズを把握するとともに効果的な企業誘致活動を行う。 【新規分：4,772千円】	12,646
7	観光費	観光PR事業費	本市の観光資源の魅力をより効果的に情報発信するため、平成29年度に制作した観光PR動画をリニューアルする。 【新規分：4,785千円】	12,697
8	道路橋梁整備事業費	市道整備事業費	市が管理している幹線・補助幹線・郊外・生活道路のうち、ひび割れや凹凸が発生している路線について、改良や修繕等の工事を実施し、地域住民の利便性の向上や生活環境の改善を図る。 <参考> 令和6年度 当初予算：749,208千円 整備延長距離：幹線・補助幹線・郊外道路整備3,595m 生活道路整備1,140m 令和7年度 当初予算：782,200千円 整備延長距離：幹線・補助幹線・郊外道路整備3,670m 生活道路整備1,477m	782,200
9	都市計画総務費	新土地利用調整業務経費	次世代半導体製造工場の立地を契機としたまちの発展に伴い、水需要の増加が想定されることから水を確保するため、河川からの取水可能性等について検討を行う。 【新規分：4,928千円】	5,664
10	大学費	【新規事業】 地方大学・地域産業創生事業費	公立千歳科学技術大学が北海道大学と連携して、実際の半導体製造工程が実習可能な施設の整備、半導体教育プログラムの共有、企業共同研究に取り組み、人材育成等を一体的に推進するための整備費や研究費の一部を負担する。	49,673

(単位：千円)

No.	科目 (目名)	事業名	予算の内容	
			概要	予算額
11	工業団地 造成費	【新規事業】 (仮称) 柏台地区 工業団地開発事業 費	次世代半導体製造工場等の立地により工業用地の不足が見込まれることから、柏台地区において工業団地を整備するための特別会計を設置し、造成工事やインフラ整備等を進める。令和7年度においては、都市計画決定手続きに必要な基本設計や現況測量、地質調査等を実施する。	203,438